

2023年 8 月
(2023-34)

細胞診検査報告様式変更のお知らせ

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度細胞診検査において、各分野の癌取り扱い規約や日本臨床細胞学会ガイドラインを参考に、検体の質的評価を表記し、結果判定よりクラス分類判定の併記を廃止いたします。

詳細は下記の通り変更させていただきますことをご案内申し上げます。

敬具

記

【開始日】

2023 年 9 月 19 日(火) ご報告分より
(お届けは翌日以降になります)

【質的評価】

検体(標本)が検査に十分か否かの質的評価を、『適正』、『不適正』で表記いたします。

『不適正』の場合は不適正理由を記載いたしますので、可能であれば検体の再採取(再検査)をおすすめいたします。

【各材料の判定変更内容】

クラス分類判定の併記を廃止し、各分野の判定区分を下記の通り変更させていただきます。

●婦人科(子宮腔部、子宮腔・頸部、子宮頸管、腔断端)

新判定	旧判定	
(ベセスダシステム)	(ベセスダシステム)	(日母分類)
検体不適正／判定不能	検体不適正	Class I / II / 判定不能
NILM	NILM	Class I / II
ASC-US	ASC-US	Class II
ASC-H	ASC-H	Class III / III a / III b
LSIL	LSIL	Class III a
HSIL	HSIL	Class III a / III b / IV
SCC	SCC	Class IV / V
AGC	AGC	Class III
AIS	AIS	Class IV
Adenoca.	Adenoca.	Class IV / V
Other malig.	Other malig.	Class IV / V

日母分類(クラス分類)は廃止し、ベセスダシステムのみ記載します

●婦人科(子宮体部、外陰)

新判定	旧判定	
検体不適正/判定不能		
陰性	陰性	Class I / II
鑑別困難	疑陽性	Class III
悪性の疑い	陽性	Class IV
悪性	陽性	Class V

●呼吸器、体腔液、泌尿器、消化器、その他の材料

新判定	旧判定	
検体不適正/判定不能		
陰性	陰性	Class I / II
鑑別困難	疑陽性	Class III
悪性の疑い	陽性	Class IV
悪性	陽性	Class V

●乳腺

新判定	旧判定	
検体不適正/判定不能	不適正	判定不能
正常あるいは良性	正常あるいは良性	Class I / II
鑑別困難	鑑別困難	Class III
悪性の疑い	悪性疑い	Class IV
悪性	悪性	Class V

●甲状腺

新判定	旧判定	
検体不適正/判定不能	不適正	判定不能
嚢胞液	正常または良性	Class I / II
良性		
意義不明		
濾胞性腫瘍	鑑別困難	Class III
悪性の疑い	悪性疑い	Class IV
悪性	悪性	Class V

●口腔

新判定	旧判定	
検体不適正/判定不能		
NILM	陰性	Class I / II
OLSIL	疑陽性	Class III
OHSIL	疑陽性	Class III
SCC	陽性	Class IV / V
IFN	疑陽性	Class III

以上